

授業科目	老年看護方法	3 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	鳥谷めぐみ (保健医療学研究棟 E303 号) e-mail : toriya@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	長谷川真澄、木島輝美、(畠山誠)、(中川真奈美)、(川村聡美)、他		
概要	本科目では、高齢者の加齢による変化や老年期に多い疾病や症候について学ぶとともに、これらが高齢者の生活にどのように影響しているのかを考える。講義と看護過程演習とを連動させながらすすめることで、健康課題をもつ高齢者とその家族を支える看護への理解を深める。また老年看護において重要となる生活援助技術について高齢者の心身の状況をふまえ、自立にむけた看護援助の具体的な方法について学習する。さらに高齢者ケアにおける倫理的課題について、自己の考えを深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期に多い疾病や症候の病態、治療・看護の概要を説明できる。</li> <li>2. 健康課題をもつ高齢者とその家族の生活を支える看護を実践するための思考過程を説明できる。</li> <li>3. 高齢者の身体機能に応じた日常生活の援助技術を習得できる。</li> <li>4. 治療・療養の場における高齢者とその家族への看護の役割を説明できる。</li> <li>5. 高齢者ケアにおける倫理的課題について考察できる。</li> </ol>		
関連科目	看護倫理、疾病治療論 4、老年看護学概論、老年看護実習 1・2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	看護過程演習	30%	看護過程演習・看護技術演習：事前課題の提出状況、事後課題の内容と提出状況、演習への取り組み態度を評価する。看護過程演習はルーブリック評価表を用いて評価する。演習、筆記試験それぞれについて 6 割に満たない場合は、再試験または課題の再提出を課す。
	看護技術演習	10%	
	筆記試験	60%	
教科書	①北川公子ほか [最新版] 「系統看護学講座 専門 老年看護学」 医学書院		
参考書	①古田愛子編 [2020 年] 「新訂版 写真でわかる高齢者ケアアドバンス」 インターメディカ ②榎原隆次編 [2020 年] 「認知症の排泄ケア ベッドサイドマニュアル」 中外医学社 ③鈴木みずえ [2020 年] 「認知症 plus 身体拘束予防」 日本看護協会出版会		
履修上の留意点	ガイダンス時に配付する学習ガイドブックを活用し、計画的、主体的に学習を進める。 看護過程演習は関連講義と連動して進めるので、各講義内容を活かして演習課題に取り組み、指定された期日に提出する。 演習は別途、詳細な演習要項を配付する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 高齢者の健康アセスメントと看護 1. 老年看護における看護過程の概説①	事後：看護過程について復習	講義	鳥谷
2	高齢者の健康アセスメントと看護 1. 老年看護における看護過程の概説②事例の説明と活用法 看護過程演習オリエンテーション	事後：配付資料を読み、事例の疾患・治療について復習	〃	鳥谷
3	高齢者の健康アセスメントと看護 2. 健康知覚－健康管理パターン	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	講義・演習	鳥谷
4	高齢者の健康アセスメントと看護 3. 栄養－代謝パターン	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	〃	木島
5	高齢者の健康アセスメントと看護 4. 排泄パターン	事前：事例のアセスメント、おむつ体験レポート 事後：アセスメントを修正し提出	〃	長谷川

6	高齢者の健康アセスメントと看護 5. 活動－運動パターン	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	〃	鳥谷
7	高齢者の健康アセスメントと看護 6. 睡眠－休息パターン	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	〃	鳥谷
8	高齢者の健康アセスメントと看護 7. 認知－知覚パターン	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	〃	木島
9	高齢者の健康アセスメントと看護 8. 心理・社会的側面のアセスメント	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	〃	木島
10	高齢者の健康アセスメントと看護 9. アセスメントの統合・看護計画	事前：事例のアセスメント 事後：アセスメントを修正し提出	〃	鳥谷
11	健康障害をもつ高齢者の看護 1. 嚥下障害	事前：高齢者の摂食・嚥下機能の復習 事後：事例の嚥下機能のアセスメント	講義	木島
12	健康障害をもつ高齢者の看護 2. 褥瘡・皮膚障害	事前：皮膚の加齢変化の復習 事後：事例の褥瘡リスクのアセスメント	〃	(畠山)
13	健康障害をもつ高齢者の看護 3. 排泄障害	事前：排泄機能の加齢変化の復習 事後：事例の排泄機能のアセスメント	〃	(畠山)
14	健康障害をもつ高齢者の看護 4. 転倒・廃用症候群	事前：運動機能の加齢変化の復習 事後：事例の転倒リスクのアセスメント	〃	鳥谷
15	健康障害をもつ高齢者の看護 5. 感染症	加齢変化の復習 事後：事例の感染リスクのアセスメント	〃	木島
16	健康障害をもつ高齢者の看護 6. 認知症	事前：認知機能の加齢変化の復習 事後：事例の認知機能のアセスメント	〃	(川林)
17	治療・療養の場における高齢者看護 1. 診断・検査を受ける高齢者の看護 治療・療養の場における高齢者看護 2. 薬物療法を受ける高齢者の看護	事前：薬理学の関連内容の復習 事後：事例の健康管理のアセスメント	〃	木島
18	治療・療養の場における高齢者看護 3. 外科的治療を受ける高齢者の看護	事前：成人の周術期看護の復習 事後：教科書指定頁の復習	〃	長谷川
19	治療・療養の場における高齢者看護 4. 高齢者介護施設の特徴と看護の役割	事前：介護保険制度の復習 事後：教科書指定頁の復習	〃	(中川)
20	治療・療養の場における高齢者看護 5. 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア	事前：教科書指定頁の予習 事後：教科書指定頁の復習	〃	長谷川
21	高齢者ケアの倫理 1. 高齢者ケアにおける倫理的課題と看護の役割	事前：倫理原則の復習	〃	〃
22	高齢者ケアの倫理 2. 高齢者ケアにおける倫理場面の事例検討	事後：教科書指定頁の復習	演習	長谷川・鳥谷・木島
23	看護過程演習グループワーク 1. 事例のアセスメント・統合・健康課題の抽出①～③	事前：提出したアセスメント、統合を読み疑問点を明確にする	〃	鳥谷・木島・長谷川・ほか
24		事後：事例の全体像・健康課題の修正		
25				
26	看護過程演習グループワーク 2. 看護計画の立案①～②	事前：事例の看護計画を立案	〃	〃
27		事後：事例の看護計画を修正し提出		
28	高齢者の生活援助技術演習(おむつ交換・摘便など)①～②	事前：事例の援助方法の立案	〃	木島・鳥谷・長谷川
29		事後：技術演習の自己評価を提出		
30	看護過程演習のまとめ(実施・評価)	事前：看護過程ワークブックの実施・評価を読む	講義・演習	鳥谷

		事後：看護過程の復習		
--	--	------------	--	--